

# 幼 兒 の 教 育

昭和七年四月

## キンダーガルテン

『ミツテンドルフと私とが、或る日、フレーベルといつしよに、ブランケンブルヒへと、ス  
タイゲルの山道を越へてゐた時のことであつた。フレーベルは、今度の新らしい仕事に適當  
な名稱はないものかなあとばかり言ひつゞけてゐた。やがて、ブランケンブルヒが眼の下に  
見えて來た。彼れは考へ込みながら歩いてゐたが、突然、まるで其の場にしばらくつけられた  
やうに立ち止つた。その眼は異様に、殆んどぎらつく程に輝いた。そして、四方の山々がこ  
だますやうな大きな聲で叫んだものだ。——しめた。いゝ名が見つかつたぞ。新計畫の名  
稱はキンダーガルテンに限る！』

これは、バロツプの書いてゐる手記の一節であるが、その時のフレーベルの擧げた叫び聲  
が、苦心の新語が、今も私達の胸にこだましてゐる。幼稚園。幼稚園。幼稚園。